

【平成29年度指定型研究(官学連携研究)】

(1) 研究課題名 **小・中学生の健康調査**

看護学科：古川照美,谷川涼子,戸沼由紀,
栄養学科：清水亮

目的

●生活習慣調査等と健康診断からなる健康調査を異なる地域で行い、子どもの頃からの生活習慣病の一次予防対策に資する保健活動に示唆を得る。

結果

●青森県内の西部に位置する日本海に面したA町、ほぼ中央に位置し陸奥湾に面したB町、南東の内陸に位置するC町の3か所の地域の中学2年生を対象に、生活習慣と健康調査について比較検討した。



●血圧値では、男子でB町がA町、C町に比べて拡張期血圧が低く、女子でも拡張期血圧はB町がA町、C町より低く、収縮期血圧はC町より低い。

●中性脂肪は男女ともC町が低く、LDL-Cは女子でA町が高い。

●ヘモグロビンA1cは、男女ともC町が低い。

●生活習慣として、A町は男女とも運動部が多いが、テレビ視聴時間も長く、C町の女子はA町、B町より睡眠時間が長い。

●緑黄色野菜や淡色野菜の摂取頻度に差はみられなかった。



地域による健康状態と生活習慣に違いがあり、地域特性を捉えた保健指導が必要